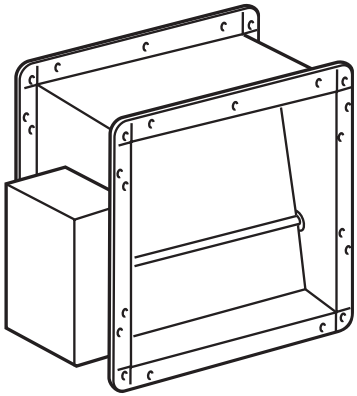
施工業者様用

Panasonic

工事説明書
電動シャッター（常閉式）

品番　FY-MSSJ062



工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」（2～3ページ）は、施工前に必ずお読みください。

・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

もくじ

安全上のご注意 ……2～3
各部の名前と寸法 ……4
施工方法 ……5～7
作動確認……裏表紙
仕様……裏表紙

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	**注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

警告

分解禁止	**仕様変更・改造は絶対にしない** 火災・感電・けがの原因になります。		**メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける** 漏電した場合、火災の原因になります。
	a.c.100 Vで使用する 火災・感電の原因になります。		**施工の際は、レンジフードの電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る** 感電やけがをすることがあります。

注意

	部品は確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。		**配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、必ず電気工事士が確実におこなう** 誤った配線工事、ねじり配線や電線のかみこみなどがあると漏電、感電や火災のおそれがあります。
	本体は指定の方法で確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。		**取り付け工事の際は、厚手の手袋を使用する** 板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。
	本体は、しっかり取り付いているか、確認する 落下により、けがをするおそれがあります。		

お願い

■高温（40 ℃以上）になる場所には取り付けないでください。

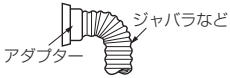
製品の変形やモーターの寿命を縮める原因になります。

■次のような配管工事はしないでください。

風量低下や雨水浸入の原因になります。

（1）極端な曲げ

（2）吐出口すぐそばでの曲げ



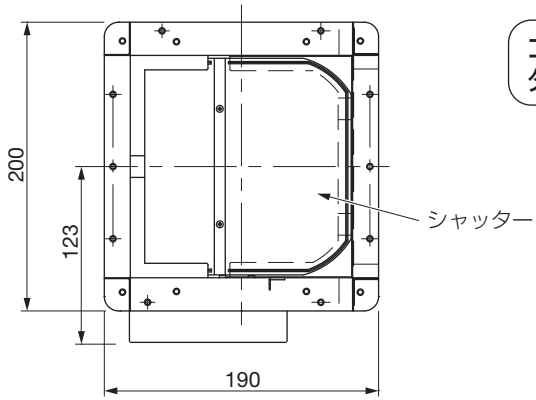
（3）多数回の曲げ

（4）接続ダクト径を小さくする

各部の名前と寸法

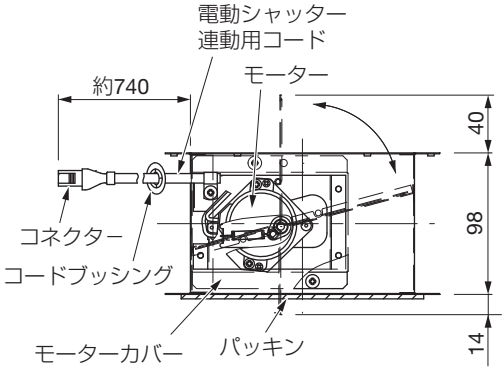
〔単位：mm〕

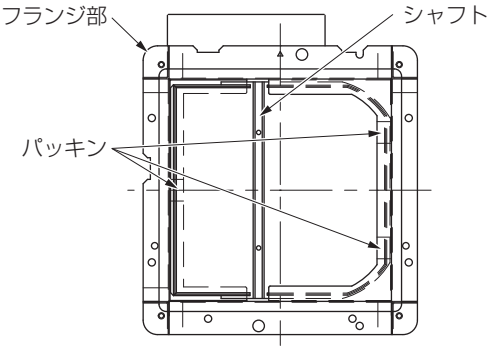
お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。



付属品

コードクリップ	1個
タッピンねじ（φ4×8）	5個





施工方法

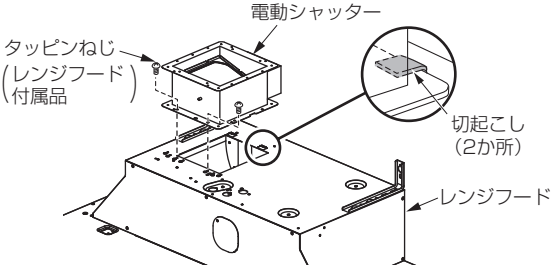
イラストはスマートフードの場合を示します。

レンジフード本体の工事説明書に電動シャッターの施工方法が記載してある場合は、そちらをお読みください。

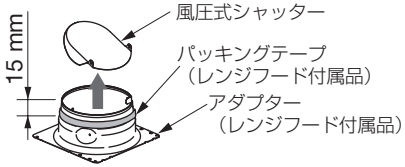
上方排気の場合

①電動シャッターをレンジフードの切起こし（2か所）に差し込み、タッピンねじ（レンジフード付属品2個）で固定する。

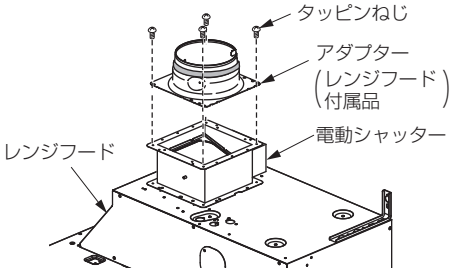
※シャッターが開閉することを手動で確認してください。



②アダプター（レンジフード付属品）の風圧式シャッターを取りはずし、アダプター（レンジフード付属品）にパッキングテープ（レンジフード付属品）を貼る。



③電動シャッターの上にアダプター（レンジフード付属品）をタッピンねじ（付属品4個）で固定する。

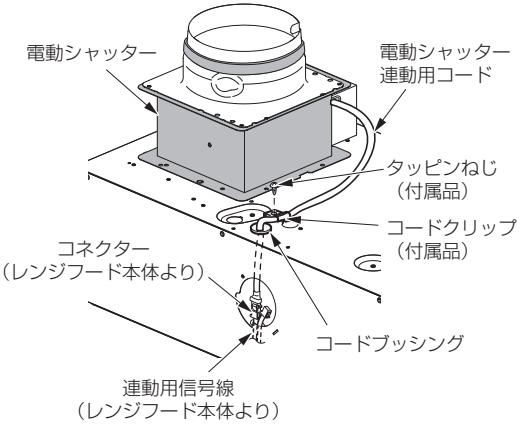


④電動シャッター連動用コードのコネクターとレンジフード本体のコネクターを接続し、コードブッシングをレンジフード本体の穴に取り付ける。

※レンジフード本体のコネクター位置は機種ごとに異なります。

※レンジフード本体の連動用信号線に「排気」の記載がある場合は、「排気」用コードに接続してください。

⑤電動シャッター連動用コードが羽根などの可動物に当たらないように、コードクリップ（付属品）とタッピンねじ（付属品）で確実に固定する。

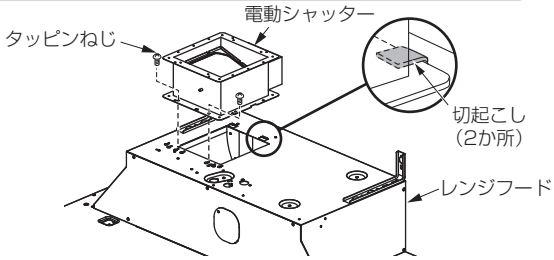


施工方法（続き）

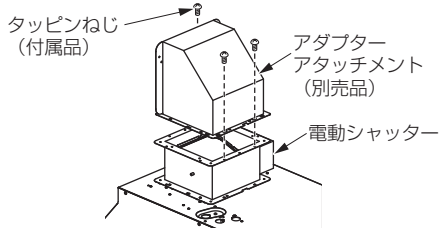
後方・側方排気の場合（レンジフード上方に余裕のある場合）

①電動シャッターをレンジフードの切起こし（2か所）に差し込み、タッピンねじ（レンジフード付属品2個）で固定する。

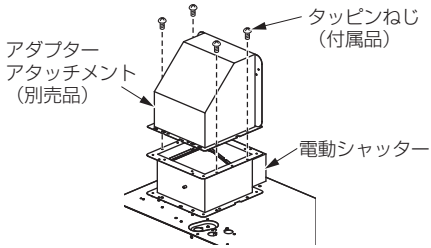
※シャッターが開閉することを手動で確認してください。



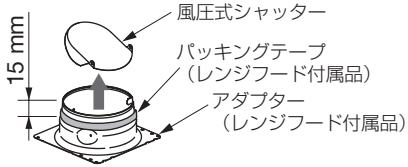
②<側方排気の場合>
電動シャッターの上にアダプターアタッチメント（別売品）をタッピンねじ（付属品3個）で固定する。



<後方排気の場合>
電動シャッターの上にアダプターアタッチメント（別売品）をタッピンねじ（付属品4個）で固定する。

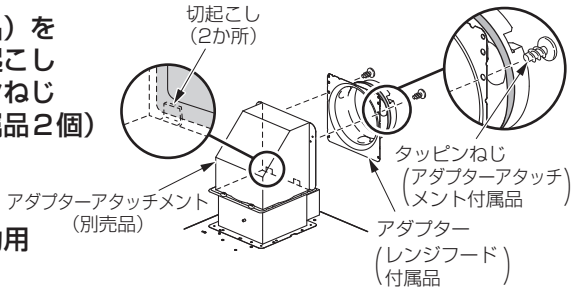


③アダプター（レンジフード付属品）の風圧式シャッターを取りはずし、アダプター（レンジフード付属品）にパッキングテープ（レンジフード付属品）を貼る。



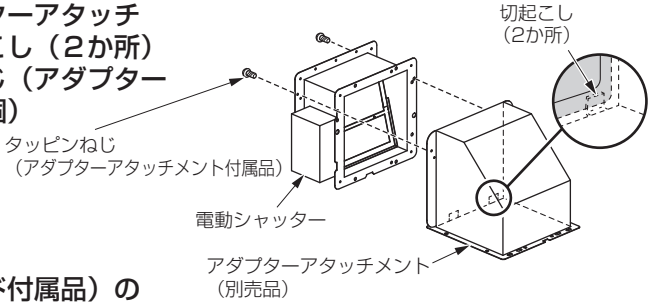
④アダプター（レンジフード付属品）をアダプターアタッチメントの切起こし（2か所）に差し込み、タッピンねじ（アダプターアタッチメント付属品2個）で固定する。

⑤5ページ「上方排気の場合」④～⑤の順に電動シャッター連動用コードを取り付ける。

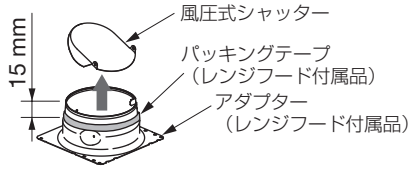


側方排気の場合（レンジフード上方に余裕のない場合）

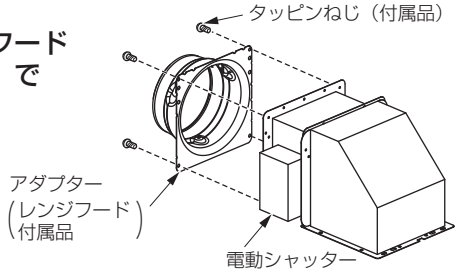
①電動シャッターをアダプターアタッチメント（別売品）の切起こし（2か所）に差し込み、タッピンねじ（アダプターアタッチメント付属品2個）で固定する。



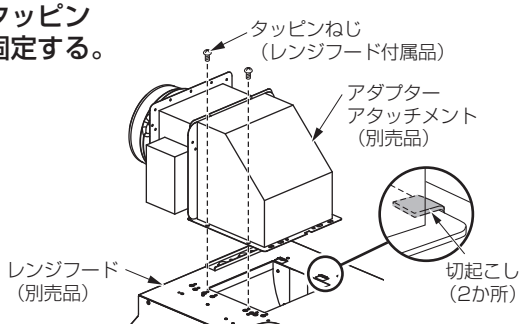
②アダプター（レンジフード付属品）の風圧式シャッターを取りはずし、アダプター（レンジフード付属品）にパッキングテープ（レンジフード付属品）を貼る。



③電動シャッターにアダプター（レンジフード付属品）をタッピンねじ（付属品4個）で固定する。



④アダプターアタッチメントをレンジフードの切起こし（2か所）に差し込み、タッピンねじ（レンジフード付属品2個）で固定する。



⑤5ページ「上方排気の場合」④～⑤の順に電動シャッター連動用コードを取り付ける。

作動確認

レンジフードの各スイッチを入れ、下記のように動作するかを確認する。
機種により風量調整の表記や数が異なります。

【風量調整３つの場合】

風量調整	シャッター動作	チェック
常時	開く	
弱	開く	
強	開く	

【風量調整４つの場合】

風量調整	シャッター動作	チェック
常時	開く	
弱	開く	
中	開く	
強	開く	

仕様

電源　a.c.100 V　50/60 Hz
消費電力
　動作時　　4.5 W以下
　開放時　　3 W以下

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511
© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2022

MSJ062430-P0422-0